

しかむら 四ヶ村の棚田

水^み

土^ど

里^り

ウォーク

四集落と山々が織りなす大パノラマ

大蔵村南部、月山・葉山の麓に位置する四ヶ村地区（豊牧、沼の台、滝の沢、平林の四集落の総称）は、山々に囲まれた急峻な水田（棚田）地帯である。「日本の棚田百選」にも選ばれた約120 haの棚田は周囲の山々に溶け込み、雄大で、訪れた人に癒しを与える美しい景観を創出している。

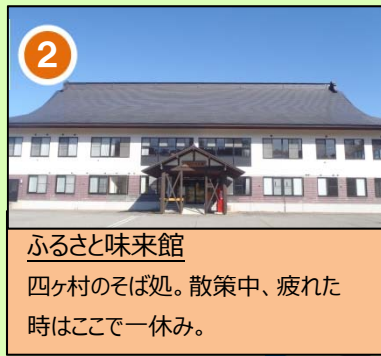
例年、夏には、オカリナ演奏とろうそくの光で彩られた棚田の風景を楽しめる「ほたる火コンサート」が開かれる。地区外からも人が集まる一大イベントになっている。

夏のほたる火コンサートに限らず、四季折々に全く違う表情を見せる四ヶ村の棚田。残雪と芽吹きのコントラストが映える春、日差しと虫の声が田園を彩る夏、黄金色の稲穂が波打つ秋、一面が白く染まった冬。ぜひ、一度訪れて、自分好みの四ヶ村を探してみたい。

全国棚田サミットを開催！

令和2年9月10日から11日にかけて、全国各地から棚田に関わりのある人々が集結する「全国棚田サミット」が大蔵村を会場に開催される。「生産の場としての棚田をどのように維持、継承していくのか」をメインテーマに議論を深め、現地視察として四ヶ村地区等を巡るコースが設定される予定だ。普段、棚田を訪れる機会がない人も、この機会に四ヶ村を訪れ、棚田と自然に触れてみてはいかがだろうか。

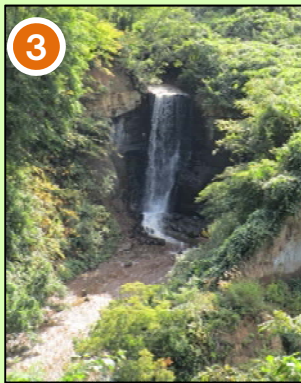
四ヶ村散策マップ



ふるさと味来館
四ヶ村のそば処。散策中、疲れた時はここで一休み。



豊牧地区の棚田
住民が整備した展望台がある。『ほたる火コンサート』のメイン会場。



男滝・女滝
滝の沢から平林に抜ける途中、道沿いから見られる夫婦滝（写真は男滝）



鼻欠倉
人の横顔に見える『日本の奇岩百景』

新しい風を取り入れて ～早稲田大学落合ゼミとの連携～



早稲田大学社会科学部
総合学術院 落合 基継 准教授

棚田サミットを契機にした取組のひとつとして、平成30年から『農村の課題を発見、解決する学問』を現地で学び、実践する早稲田大学農村デザインゼミナール（落合ゼミ）の現地調査を受け入れている。落合准教授、学生とも、揃って「地域の方と少しずつ信頼関係を築きながら、四ヶ村の魅力に地域の方が気づき、私たちと地域の方が一緒になって考え動き、四ヶ村をより元気にしていくための取組につなげていきたい」と、取組への思いを話してくれた。



お問い合わせ

- 記事の内容について
最上総合支庁農村計画課 TEL:0233-29-1339
- 棚田サミットについて
大蔵村産業振興課 TEL:0233-75-2111 (代表)

- 早稲田大学の学生たちが四ヶ村地区の動画を作成しました！ぜひ、ご覧ください！

【第1弾】 <https://youtu.be/-2gKwPovEDo>

